



2020年3月期 決算補足説明資料



2020年5月8日

スマート社会のその先へ 真空技術で支える豊かな未来

株式会社 **昭和真空**

証券コード：6384 東証JASDAQ



2020年3月期決算概況

2019年度 決算概況 (連結)



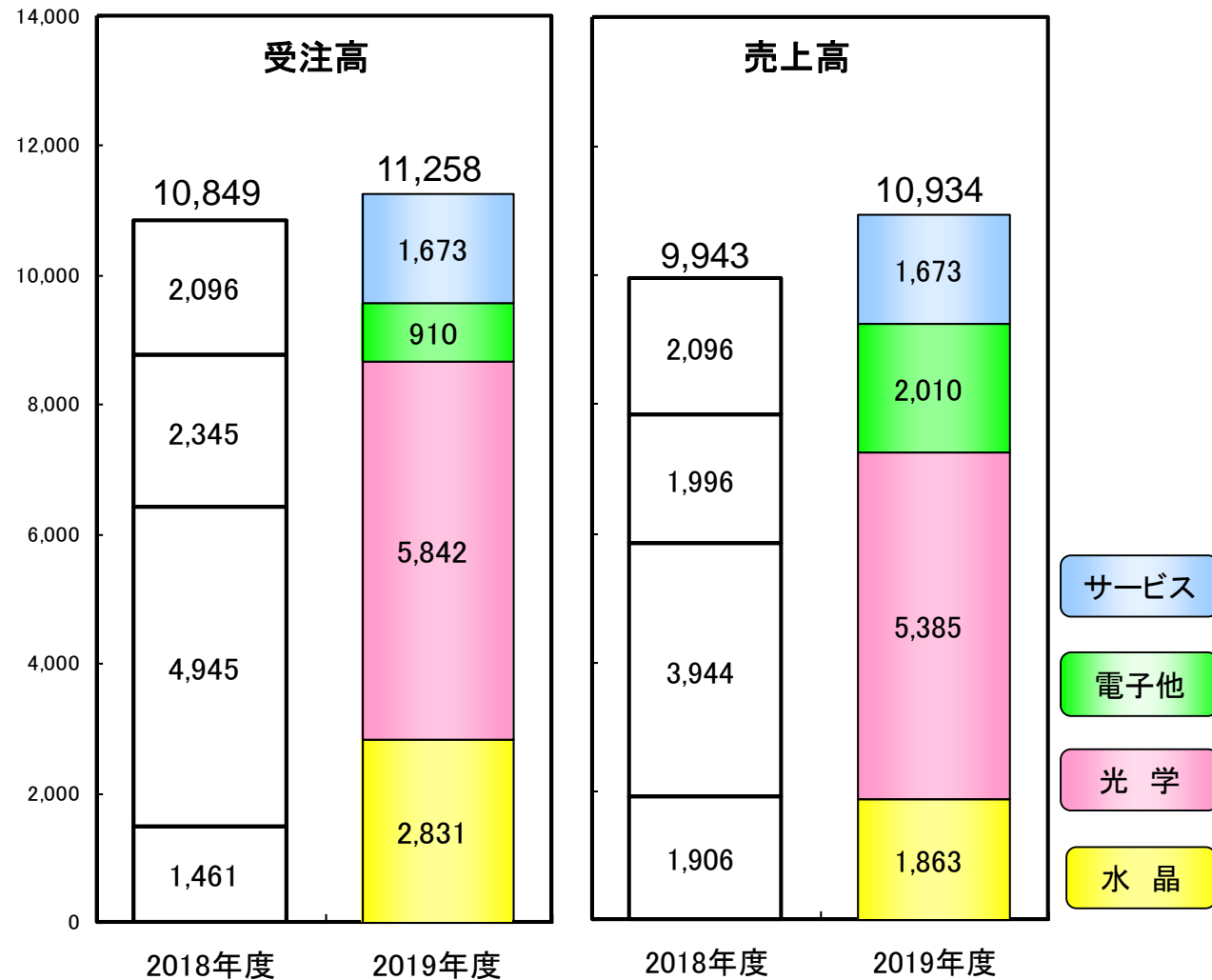
(百万円)	2018年度		2019年度			
	実績		実績		対前期	
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	率
受注高	10,849	—	11,258	—	409	3.8%
売上高	9,943	100.0%	10,934	100.0%	990	10.0%
営業利益	1,021	10.3%	1,231	11.3%	209	20.6%
経常利益	1,052	10.6%	1,234	11.3%	181	17.3%
当期純利益	702	7.1%	856	7.8%	154	21.9%

2019年度の事業概況

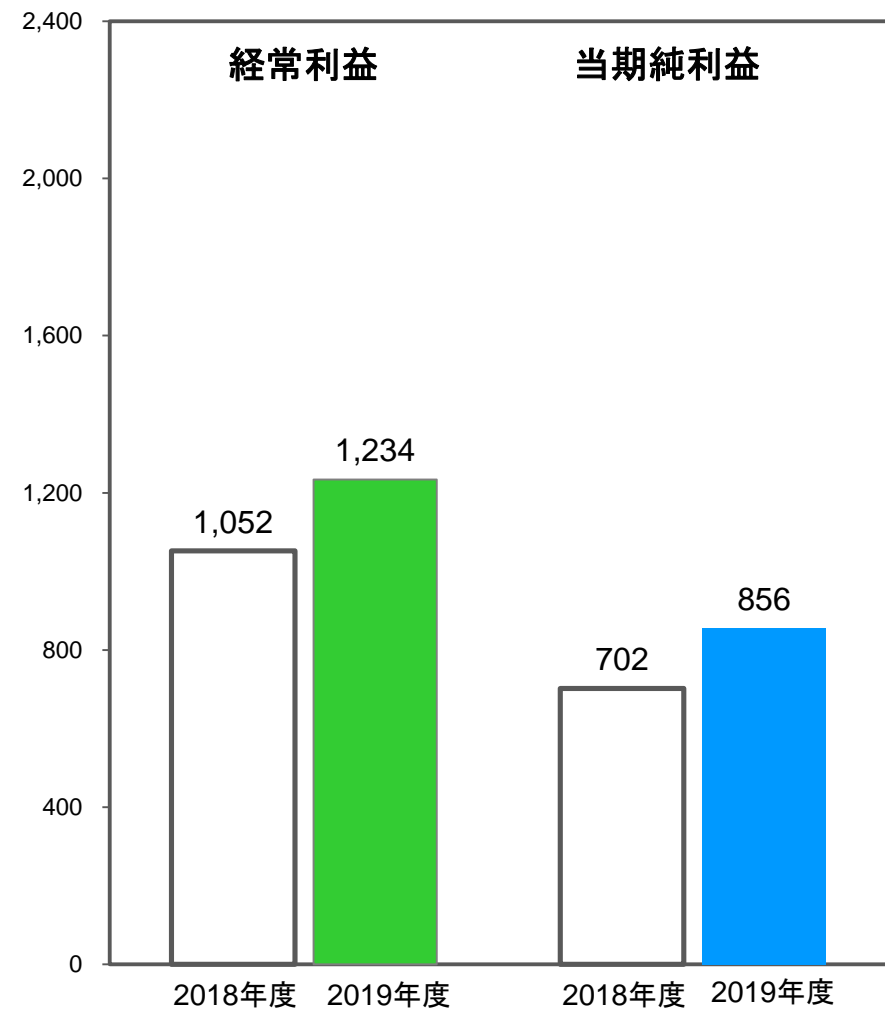
受注・売上・利益（連結）



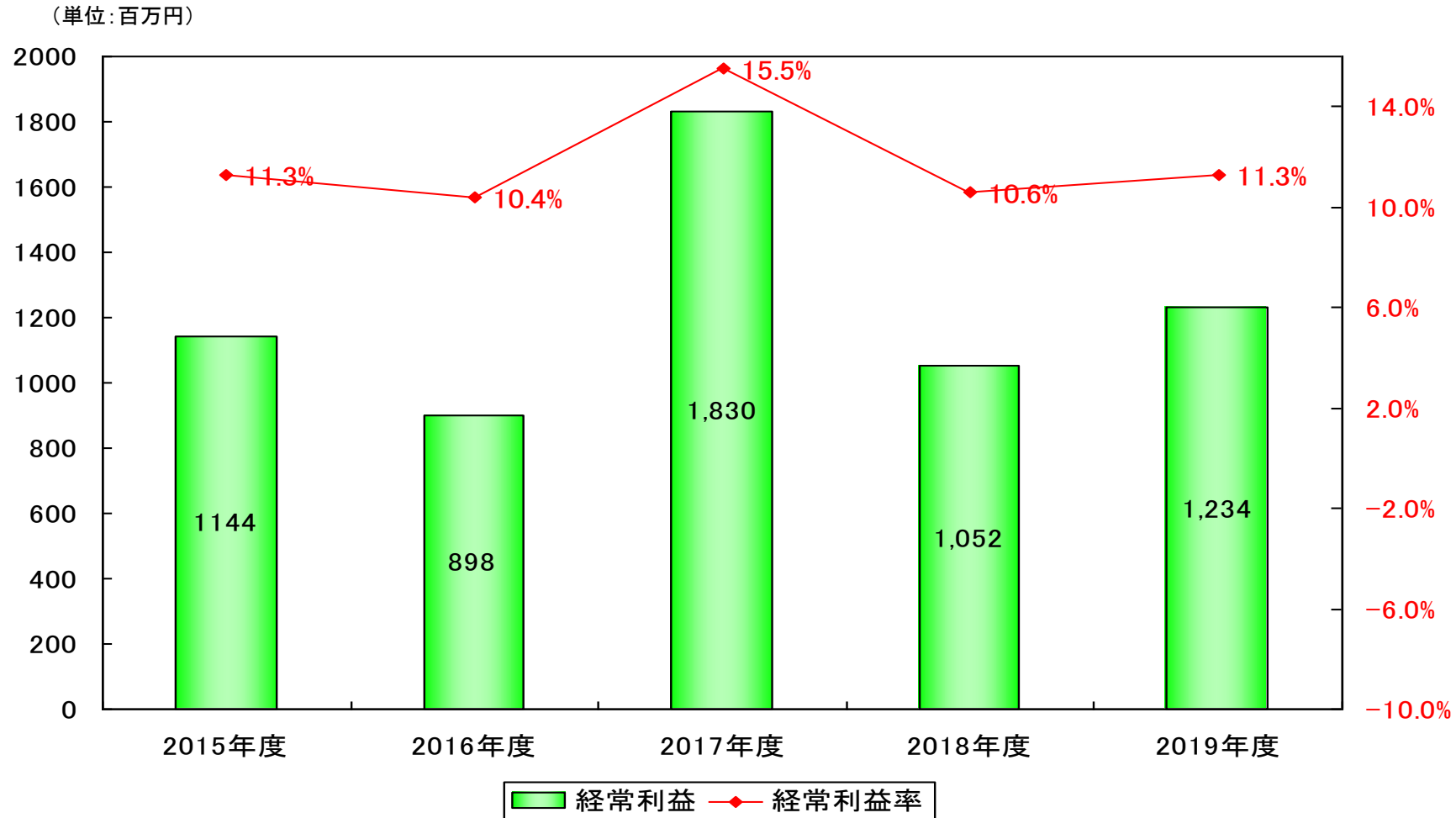
(単位:百万円)



(単位:百万円)



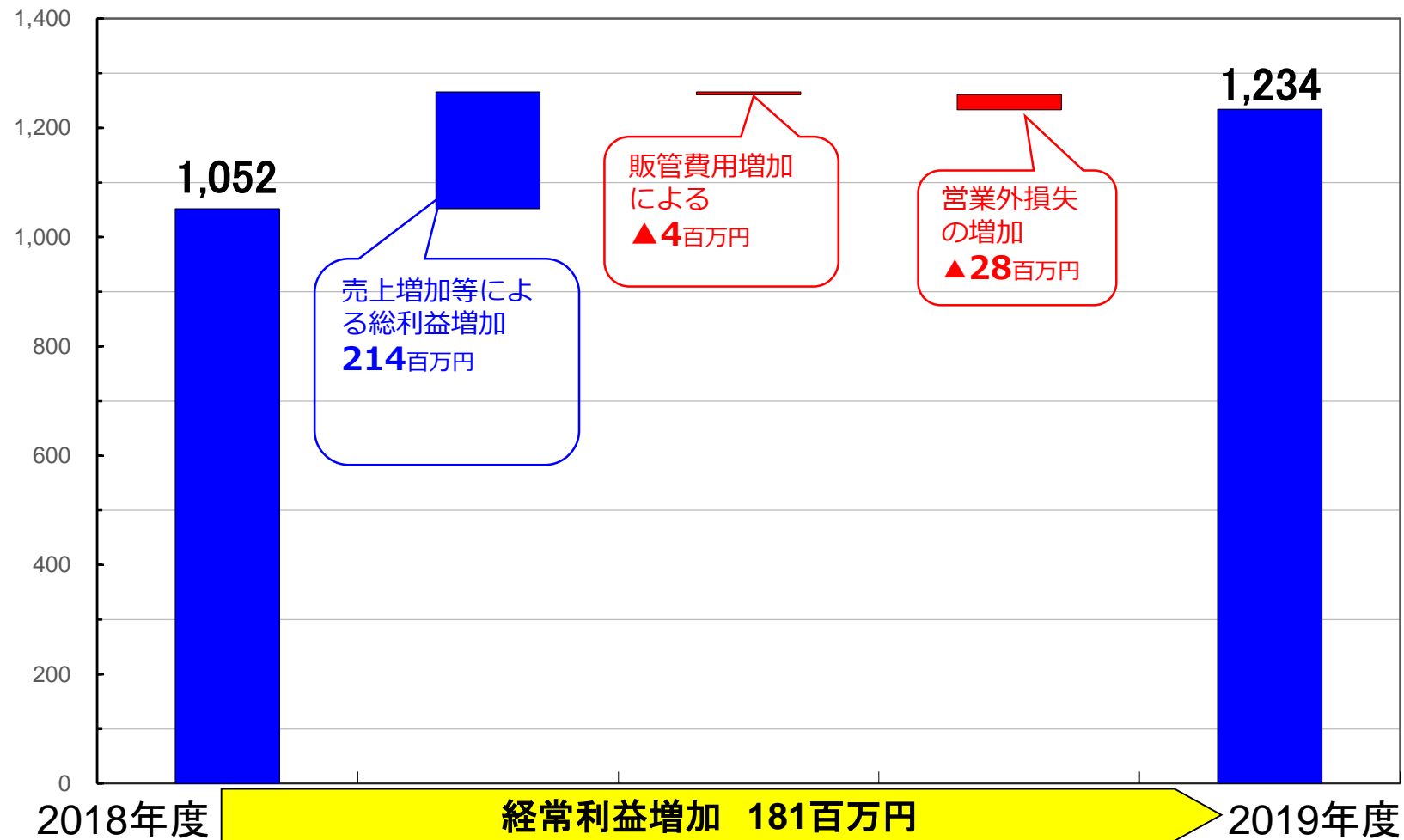
経常利益の推移 (直近5カ年、連結)



売上高	10,099	8,640	11,824	9,943	10,934
-----	--------	-------	--------	-------	--------

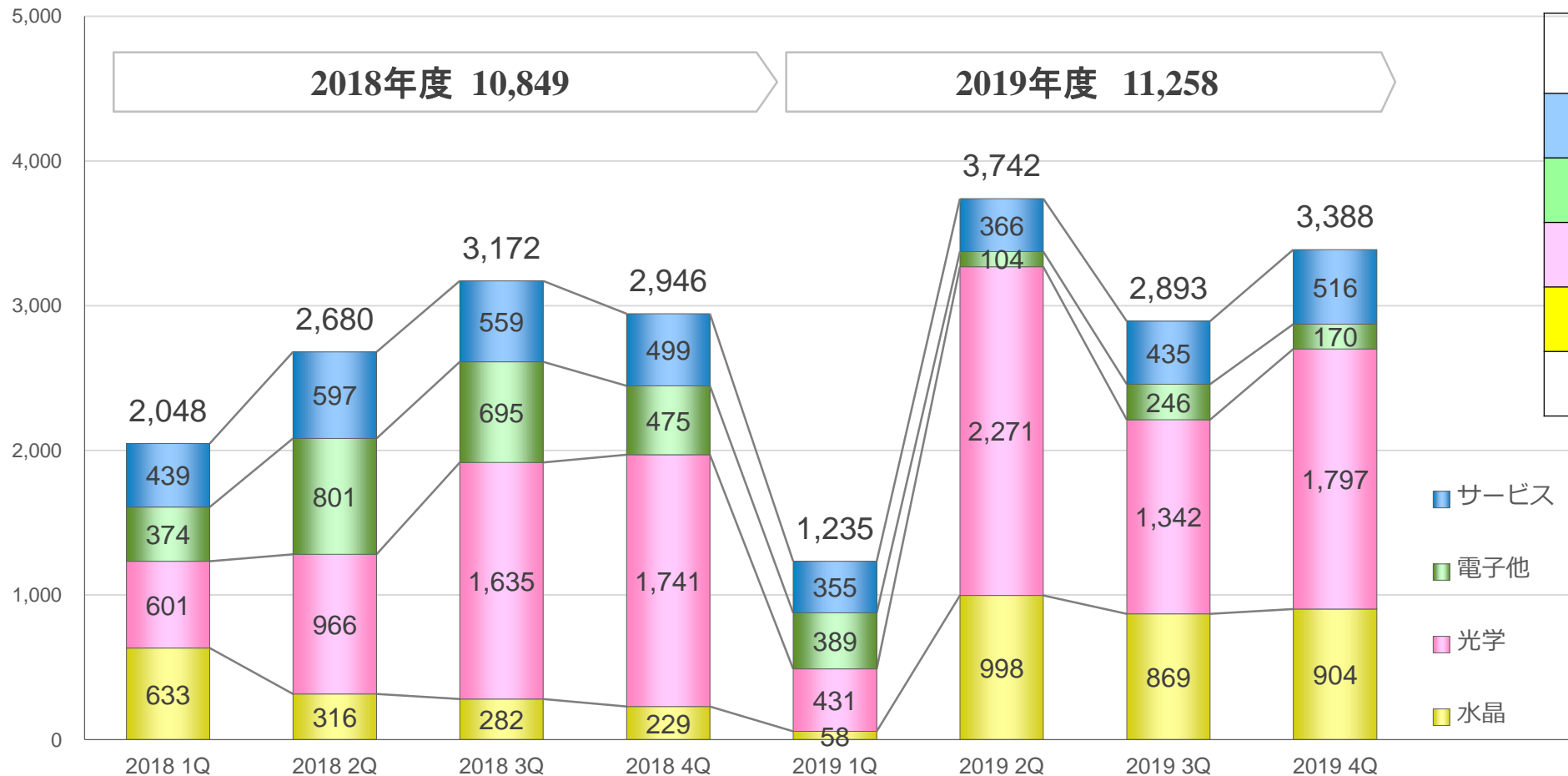
経常利益の増減要因分析

(単位：百万円)



受注高品目別推移 (四半期、連結)

(単位：百万円)

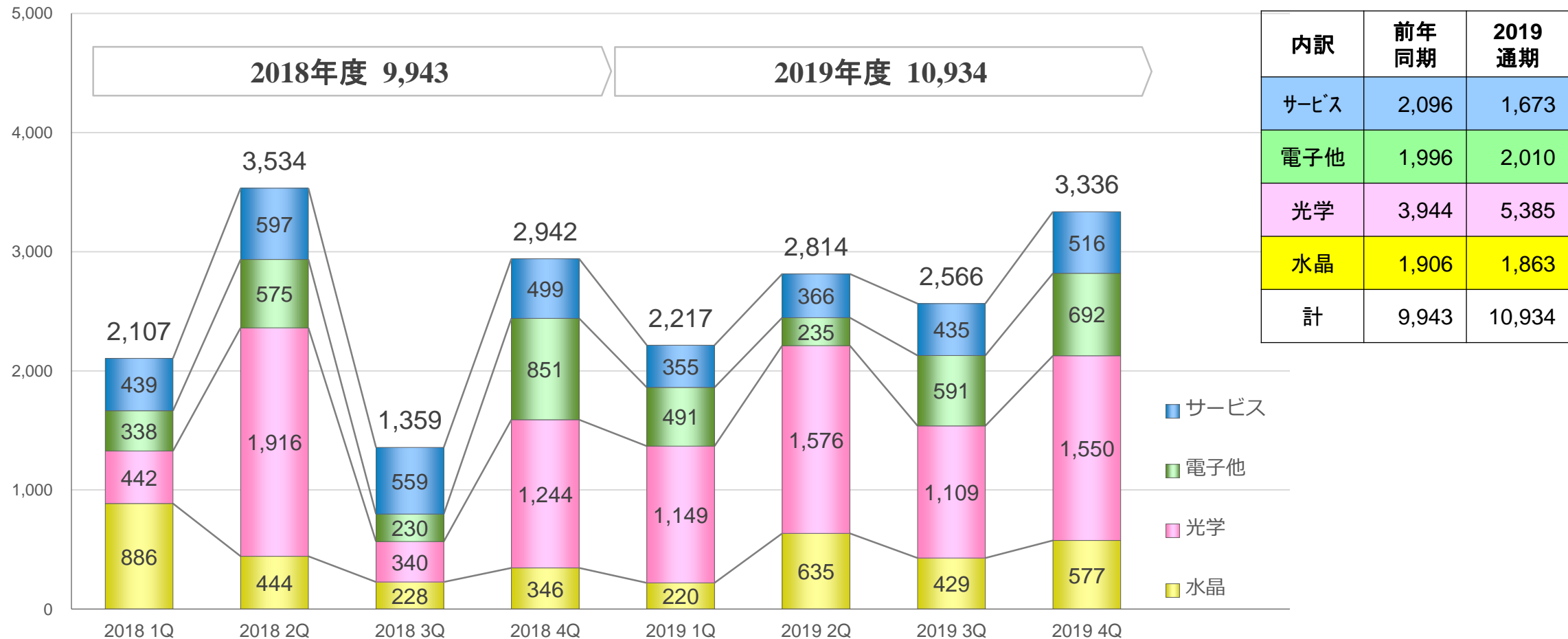


内訳	前年同期	2019通期
サービス	2,096	1,673
電子他	2,345	910
光学	4,945	5,842
水晶	1,461	2,831
計	10,849	11,258

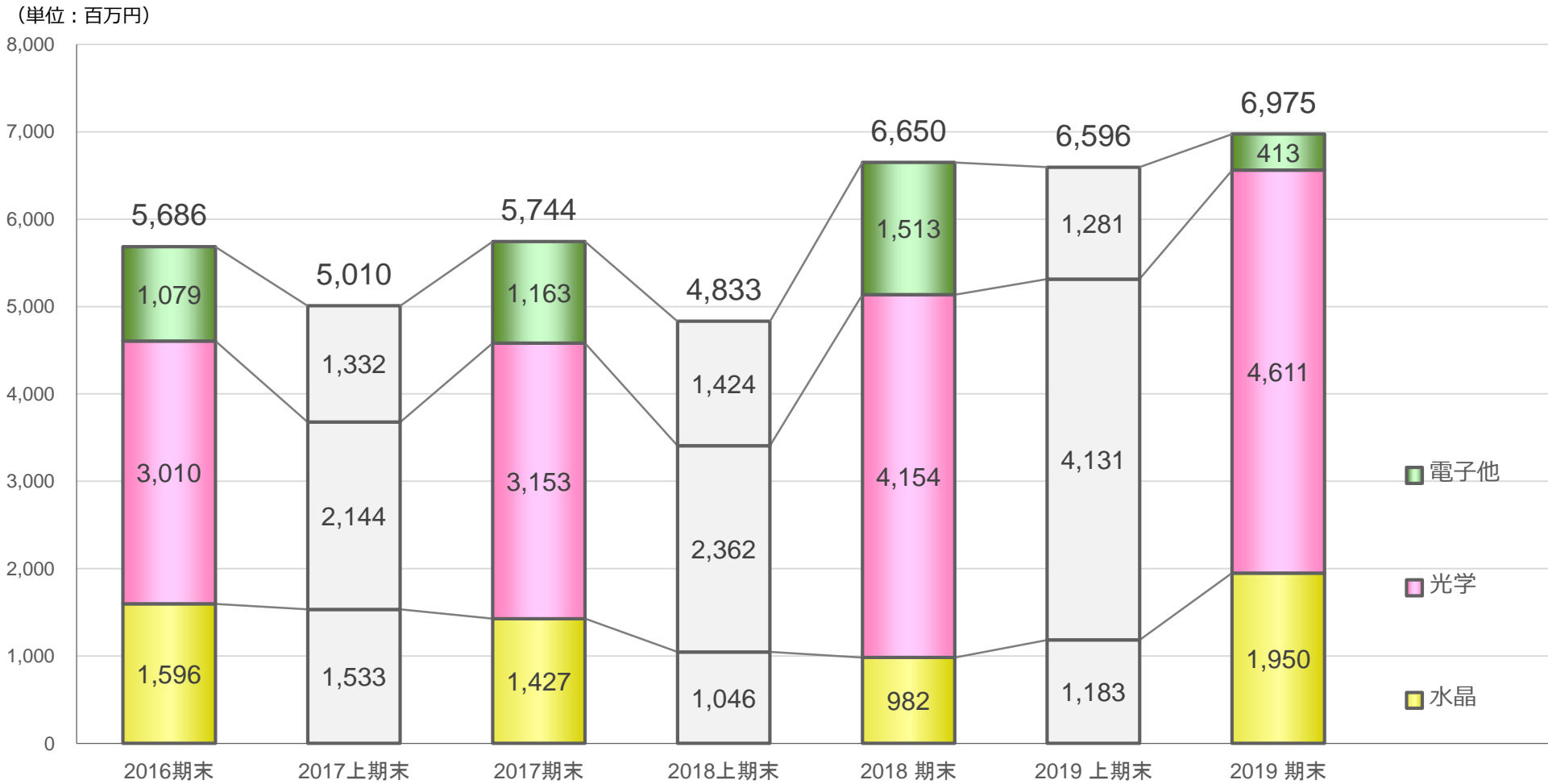
- サービス
- 電子他
- 光学
- 水晶

売上高品目別推移 (四半期、連結)

(単位：百万円)



受注残品目別推移 (連結)



貸借対照表 (連結)



(単位：百万円)

	2018期末	2019期末	増減額	主な増減要因
資産合計	13,121	15,471	2,349	
流動資産	9,905	11,602	1,696	現金及び預金 796 受取手形及び売掛金 507 仕掛品 99
固定資産	3,215	3,869	653	
負債合計	4,270	6,182	1,912	
流動負債	3,209	5,334	2,125	支払手形及び買掛金 720 電子記録債務 489 前受金 627
固定負債	1,060	847	▲212	
純資産合計	8,851	9,288	436	

借入依存度 3.6%

自己資本比率 60.0%

固定比率 41.7%

キャッシュ・フロー計算書 (連結)



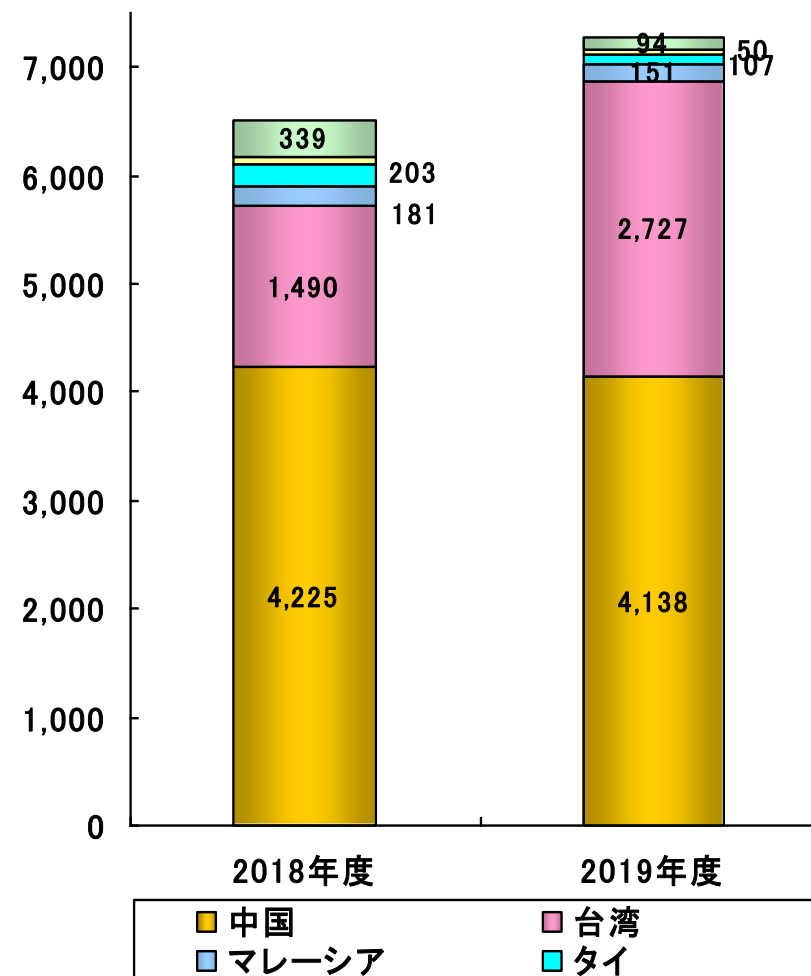
(単位：百万円)

	2018年度	2019年度	主な要因	
営業活動によるキャッシュフロー	735	1,841	税金等調整前当期純利益	1,232
			売上債権の増加	▲515
			仕入債務の増加	1,201
投資活動によるキャッシュフロー	▲76	▲629	有形固定資産の取得	▲605
			無形固定資産の取得	▲20
財務活動によるキャッシュフロー	▲450	▲382	配当金の支払	▲367
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲38	▲36		
現金及び現金同等物の増減額	169	793		
現金及び現金同等物の期首残高	2,682	2,852		
現金及び現金同等物の期末残高	2,852	3,645		


輸出先国別売上高推移 (連結)

(単位: 百万円)

	2018年度	2019年度
中国	4,225	4,138
台湾	1,490	2,727
マレーシア	181	151
タイ	203	107
シンガポール	75	50
その他	339	94
合計	6,516	7,269
輸出割合	65.5%	66.5%



- ① スマートフォンのカメラ複眼化や搭載部品数の増加などを背景に、水晶、光学の受注は好調維持も、電子、サービスは弱含みで推移
- ② 受注残等を背景に稼働率は良好に推移、生産効率向上、案件ごとのコスト削減等により利益を確保
- ③ デバイスメーカーの次世代デバイスへの取り組み姿勢は継続、次世代製品向け依頼実験、装置開発に引き続き注力
- ④ 相模原工場内に新開発棟建設、2020年度より本稼働
- ⑤ 新型コロナウイルスの影響で一部案件の納期スケジュールが遅延



2021年3月期の見通し (2020年度)

2020年度 連結業績予想



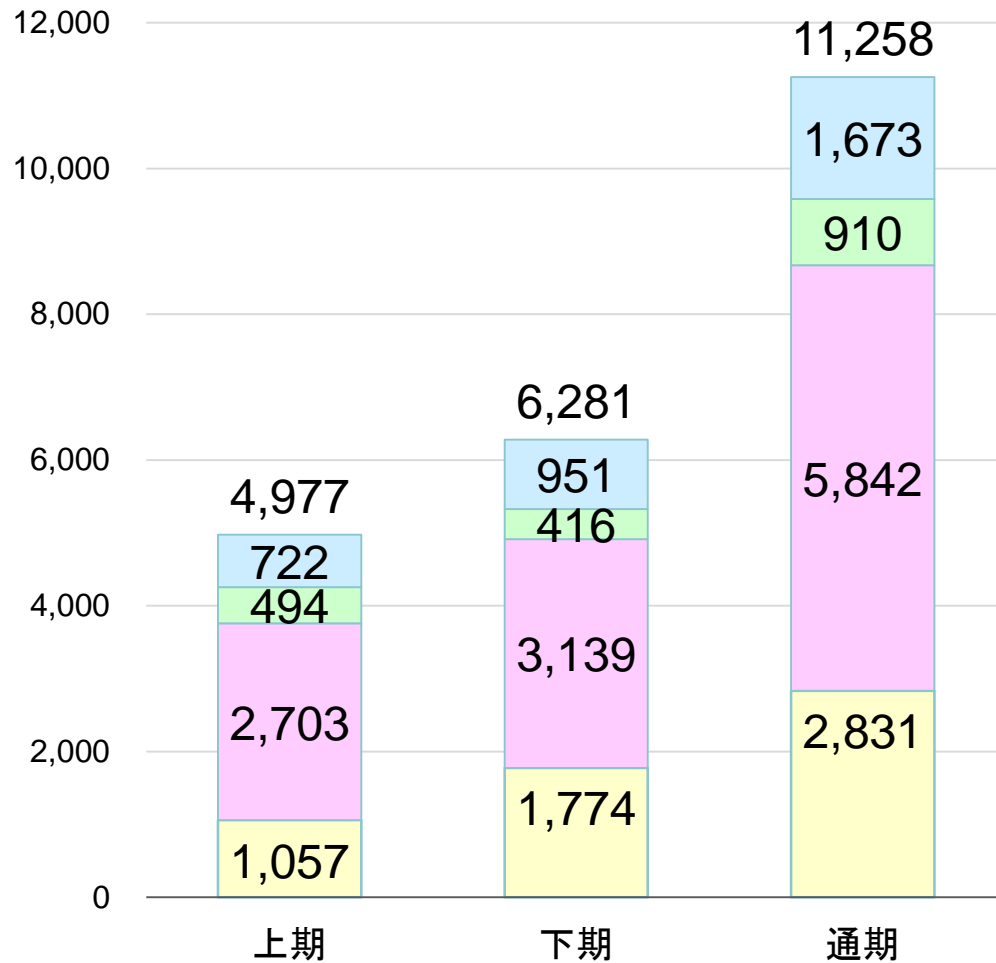
	2019年度		2020年度 業績予想			
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	増減率
受注高	11,258	—	11,000	—	▲258	▲2.3%
売上高	10,934	100.0%	11,000	100.0%	65	0.6%
営業利益	1,231	11.3%	1,095	10.0%	▲136	▲11.1%
経常利益	1,234	11.3%	1,100	10.0%	▲134	▲10.9%
当期純利益	856	7.8%	772	7.0%	▲84	▲9.9%

※新型コロナウイルス感染症の状況は不透明ですが、期中において収束し経済活動が回復に向かうと想定しております。
 ※緊急事態宣言、海外渡航制限ならびに日本を含む各国の入国制限が長期化した場合、当社業績が大きな影響を受ける可能性があります。

2020年度 受注計画 (連結)

(単位：百万円)

【 2019年度 】



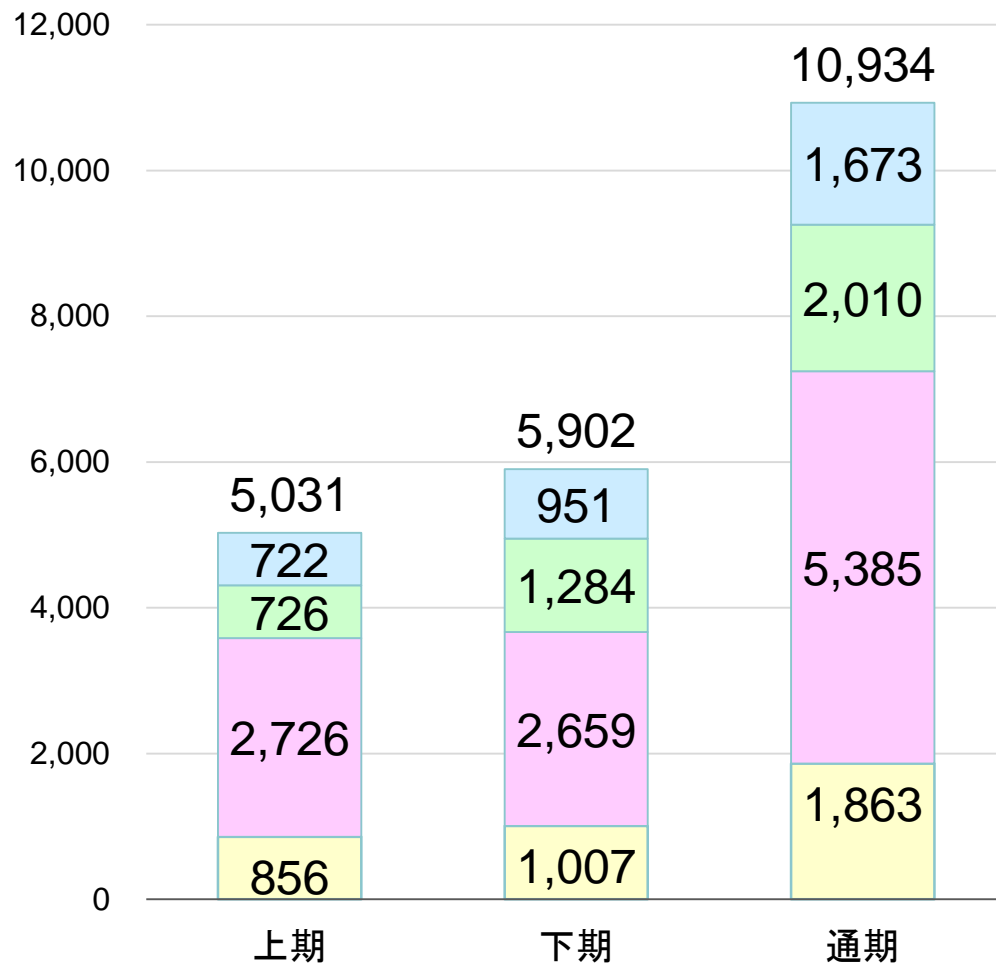
【 2020年度計画 】



2020年度 売上計画〔連結〕

(単位：百万円)

【 2019年度 】



【 2020年度計画 】

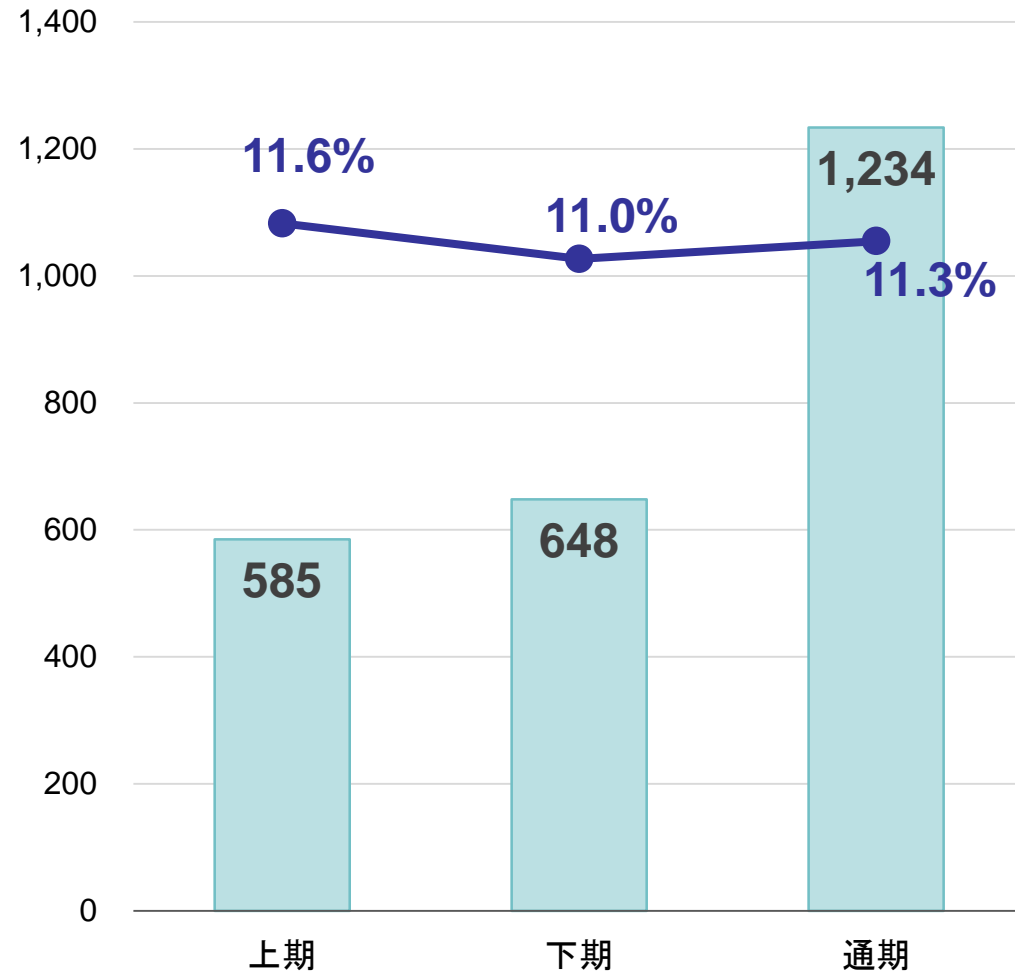


2020年度 經常利益（率）（連結）

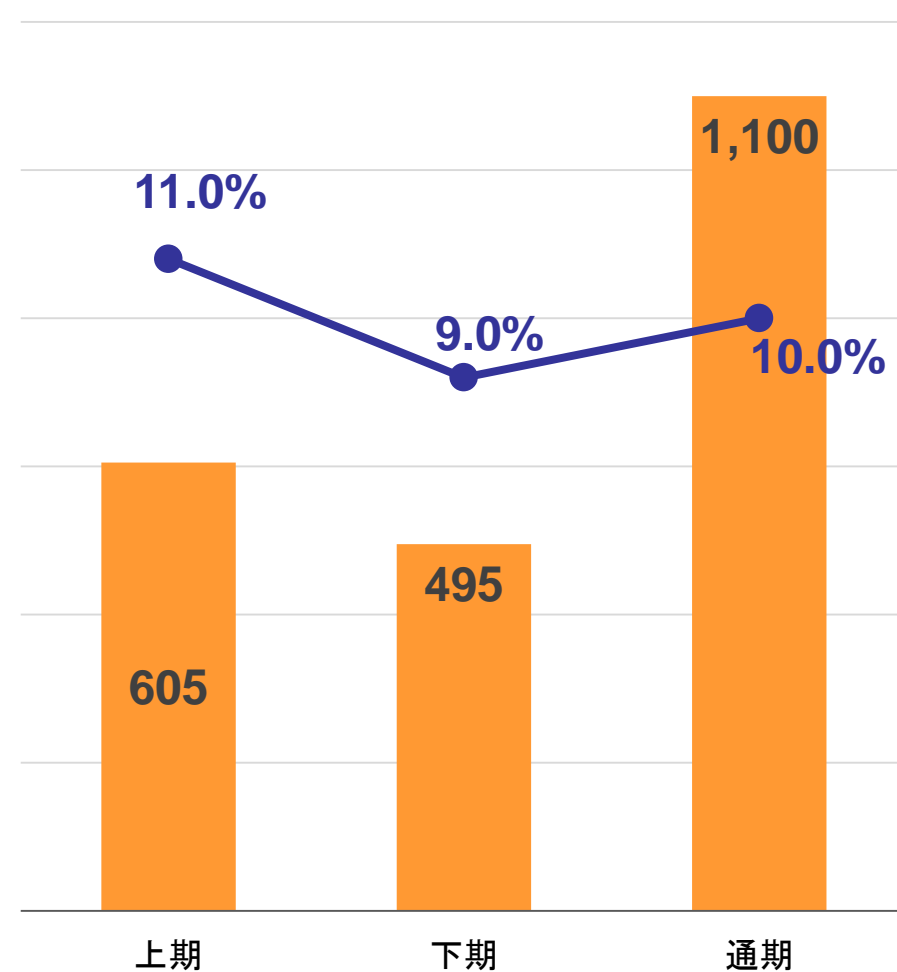


(単位：百万円)

【 2019年度 】



【 2020年度計画 】



設備投資計画など<単体>

(単位:百万円)

	2019年度	2020年度計画
設備投資額	716	56
研究開発費	372	462
減価償却費	103	187

2020年度 重点実行項目

- ① 戦略装置の開発（水晶、光学、電子 各分野）
- ② 技術力・開発力の強化（新開発棟の活用）
- ③ 顧客との共同開発の実施と成果の実現
- ④ 品質管理体制のさらなる強化
- ⑤ 海外子会社との連携強化（生産能力の強化）
- ⑥ 新型コロナウイルス感染症への対応
地域社会、取引先、従業員の安全確保、生産体制の整備等

□ 生産体制等

⇒シフト制、動線分離、在宅勤務を併用し感染防止に最大限努める。

□ 装置出荷・設置・顧客サポート等

⇒緊急事態宣言、海外渡航制限、日本を含む各国の入国制限が長期化した場合に影響がある。

⇒海外子会社従業員による対応実施

⇒本社従業員のリモートによる作業支援の実施

状況に応じた機動的な対応を継続していきます。

《注意事項》

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おき願います。



株式会社 昭和真空
SHOWA SHINKU CO., LTD.